

佐農技防第417号
令和7年(2025年)8月8日

各関係機関長様

佐賀県農業技術防除センター所長

オオタバコガ、シロイチモジヨトウの防除対策の徹底について

大豆において、8月上旬に一部圃場でオオタバコガの多発圃場を認めています。また、オオタバコガおよびシロイチモジヨトウのフェロモントラップ調査において、誘殺数が平年に比べて多く推移しています。今後、大豆、野菜類、花き類でこれらチョウ目害虫による被害を生じるおそれがあります。

については、圃場ごとの発生状況を注視するとともに、下記事項を参考に防除対策を徹底するよう生産者への指導をお願いします。

記

1. オオタバコガ、シロイチモジヨトウの発生状況

- 1) 大豆において、8月上旬に一部圃場でオオタバコガの多発生を認めている。
- 2) 8月1日～5日に行った大豆の定期調査において、一部圃場でオオタバコガ及びシロイチモジヨトウの寄生を認めている。
- 3) 7月18～24日に行ったアスパラガスの定期調査において、一部圃場でシロイチモジヨトウの寄生を認めている。
- 4) オオタバコガのフェロモントラップへの誘殺数は7月6半旬に増加し、平年より多い(図1)。
- 5) シロイチモジヨトウのフェロモントラップへの誘殺数は、平年より多い(図2)。
- 6) 九州北部地方の1か月予報(福岡管区气象台8月7日発表)では、向こう1か月の気温は平年より高いと予想されており、オオタバコガ、シロイチモジヨトウの増殖・活動に好適である。



オオタバコガ幼虫
(2025年8月7日撮影)



シロイチモジヨトウ幼虫
(2023年11月撮影)

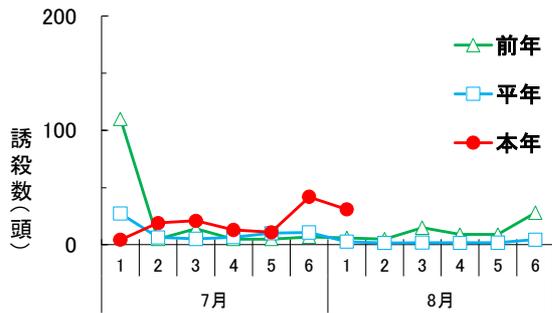


図1 フェロモントラップによるオオタバコガの半旬別誘殺数
(佐賀市川副町・農業試験研究センター調査)

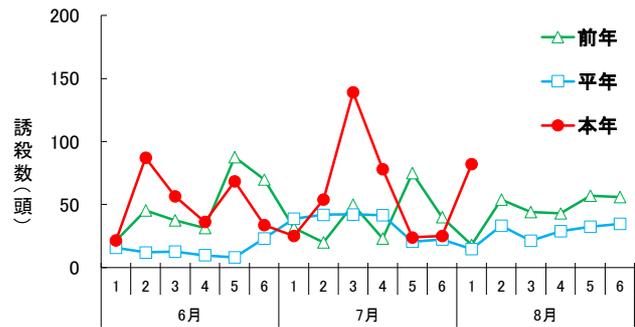


図2 フェロモントラップによるシロイチモジヨトウの半旬別誘殺数
(佐賀市川副町・農業試験研究センター調査)

2. 防除対策

- 1) 発生状況は圃場ごとに大きく異なるため、必ず圃場を確認し、幼虫の発生を認めた場合は早急に防除対策を行う。
- 2) 発生している種によって薬剤の効果が異なるため、薬剤の選定には注意し、散布後は効果を確認する。
- 3) 幼虫は、齢が進むと薬剤の効果が低下するため、若齢幼虫期に防除を行う。
- 4) 薬剤防除にあたっては、登録内容（希釈倍数、収穫前日数等）を遵守し、かけむらが無いよう、丁寧に散布する。
- 5) 薬剤感受性の低下を防ぐため、同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布する。
- 6) シロイチモジヨトウの卵塊や分散前のふ化幼虫は速やかに寄生葉を摘み取り処分する。
- 7) 施設栽培では、開口部に防虫ネット（4ミリ目以下）を設置して成虫の圃場内への侵入を防ぐ。
- 8) 圃場周辺の雑草は増殖源となるため、除草を徹底する。

連絡先：佐賀県農業技術防除センター 病害虫防除部

〒840 - 2205 佐賀市川副町南里 1088

TEL (0952) 45 - 8153 FAX (0952) 45 - 5085

Mail nougyougi.jutsu@pref.saga.lg.jp

ホームページアドレス <https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00321899/index.html>

病害虫総合防除計画掲載アドレス <https://www.pref.saga.lg.jp/kiji003101844/index.html>

防除セ QR コード*



防除計画 QR コード*

